

## 深刻な看護師不足でも法人自己評価はSの不思議 派遣会社に頼る実態には一言も触れない業績評価



法人本部が22年度の事業実績評価書を9月に公表しました。これは私たちでいうところの自己申告のようなものです。

自己申告と同じく、まず法人が自己評価し、それを外部の評価委員が評価し、最終的には知事が評価を行います。評価書の内容は法人が行う業務全般に及びますが、私たちの労働環境に関する部分は、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」にあります。

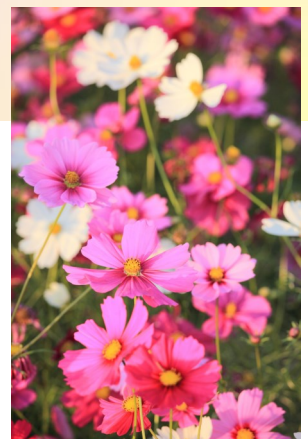
「業務運営の改善及び効率化」に対する

法人の自己評価はS(5段階の最高評価)でしたが、外部委員会の評価後はワンランク下がってAとなっています。深刻な看護師不足がワンランク下がった原因のようです。

自己評価では、「病院の実情に応じて採用活動を実施することが可能になった」として、「令和4年度採用実績(7月～3月) 医師・歯科医師 約120人 看護師・助産師 約110人」と書いてあります。なぜ正確に×××人と書かないのか理解できませんが、それよりも何よりも、看護師不足のために派遣会社に頼らざるを得なくなっていることが全く書かれていません。「実情に応じて」と言いますが、私たちのニュース(6月13日付28号)では、荏原病院では近隣相場より時給が安く、外来で深刻な看護師不足が生じていることを報告しました。それなのに自己評価はS、不思議としか言えません。(つづく)

## コロナ事故休暇を24年3月末まで延長 防疫手当(210円)は9月末で終了

9月19日、労組は法人本部と、9月末日まで延長されていたコロナ防疫手当(210円)と事故休暇などについて交渉を行いました。交渉では、防疫手当は9月末日までで終了することになりましたが、事故休暇は24年3月末日まで延長することになりました。コロナ9波の収束の見通しが立たないなか、防疫手当が終了になった背景には、岸田政権が10月から診療報酬の特例措置を大幅にカットすることがあります。10月からは高額なコロナ治療薬も自己負担が最大9千円にもなります。岸田政権、庶民の生活ガン無視です。



発行 地方独立行政法人都立病院機構労組

@toritubyoin\_ro 都立病院のお役立ち情報を発信しています

あなたの職場の健康度は? いますぐチェック →



LINE@  
都立病院労組

職場のお悩み相談に乗ります  
LINE@アプリの登録が必要です

